

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こすもす園		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 6日		2024年 10月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29人	(回答者数) 27人
○従業者評価実施期間	2024年 9月 6日		2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ ひとりひとりに合わせた支援を考えて、職員間で共有し実践することで子ども達が楽しんで、元気に活動できていること	・ 学年によって下校時間が異なるため、子どもに合わせてプログラムを組んで、時間に合わせて充実した内容になるよう工夫している ・ 子ども達が楽しんで活動に参加できるように、したいこと等、子どもの意見も取り入れ、安全に配慮しながら環境づくりをしている	・ 特性に合わせた合理的配慮ができた活動を増やしていくことで、子どもたちが自己決定の機会を増やしたり、自分ひとりでできたと言う達成感を持てるような活動へと充実させていく
2	・ 小学校1年生から高校2年生までの幅広い子どもたちが利用しており、下の子は上の子を頼ったり、上の子は下の子のお世話をするなど、一緒に活動することで思いやりの心や挑戦したいという気持ちが育っている	・ 活動の中で係を決めたり、グループ活動で年上の子どもにはリーダーを任せている。散歩の時は、年上の子どもに年下の子どもと手をつないでもらったりすることで、職員が言わなくても助けあえる場面も増えている。	・ 年上の子ども達が活動を企画して、年下の子ども達と一緒に取り組むことで責任感や自分たちもやってみようという気持ちを育てるとともに、学年ごとの活動も同時に行い、それぞれの立場で必要なスキルを習得できるように取り組んでいきたい

3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と保護者様と三者で連携を取って必要な情報は共有し、日々の支援に取り入れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・北はりま支援学校は遠方のため、送迎に行っていなかったが、先生とお話する機会を作るため毎週金曜日は送迎に行っている ・日々の送迎、連携会議、オープンスクールなどで先生とお話するようにし、得た情報を保護者様とも共有している ・個別支援計画の共有や連絡帳の確認なども、許可をもらって行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもが通うすべて学校と連携が取れていないので、今後は学校と連携が取れるように、信頼関係を築き努めていきたい
---	---	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練など定期的に取り組んでいる活動を保護者様へ周知できていないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様への報告で、こども達と活動したことがメインになっているため、こどもの避難訓練や安全管理など、安全に過ごせる場所の提供をするために行っていることへの周知が不十分だった 	<ul style="list-style-type: none"> ・予約表にも記載したり、連絡帳に活動の様子以外に避難訓練等を実施したことや健康面についても保護者様へお知らせするなど、正しく発信していくよう尽力する
2	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の関係で保護者様の利用したい曜日の希望に添えないことがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の下校時間が重なる為、地域小学校への送迎が難しい場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員の枠を守りながら、キャンセル待ちにより空き状況を直ぐに知らせ、利用希望を補っていく。 ・利用児童の学校や学年に合わせて、利用の曜日を設定する。